

編集後記

今、日本中が平昌オリンピックで盛り上がっています。

始まった当初は北朝鮮のほほえみ外交がメインの話題でしたが、競技が本格的になると興味はメダル獲得へと向かっています。それにしても昨日の高木美帆選手は惜しかった。「あまりにも当日オランダのポスト選手の調子が良すぎた、としか言いようがない」とは生放送で見た解説者としての小職の談である。ただ、日本人があんなに速いのは感動しました。

今回の冬季オリンピックではもう一つ話題がありますね。何であんなに寒い夜遅くにジャンプ競技をやるのだ、何でこんなに早くからフィギュアスケートを行うのだですね。放映権とか欧米諸国のお客第一扱いとかいう理由のようで、これまでのオリンピックでも常態化していたようですね。選手は出演料を頂いて Show を行っているのではないのですから選手の体調が最もよくなる時間帯が好ましいと思うのですが、そのように感じるのは私だけでしょうか。

さて、3月号は“自然再生、自然景観、都市景観”特集で国土交通省、環境省からその他の行政機関、各種法人、機構、協議会、学会関係、建設会社等幅広い領域の識者が投稿して下さいました。

一昨年の2月も全く同じ特集でしたが、今回は一貫した傾向が見られました。生物多様性ネットワークでは事業地区の整備前後における周辺の生物多様性、八幡湿原では湿原を

生物の生息地とするとともに学校教育の場とする、ダム建設ではLED照明の採用により建設と生態系保全を両立する、エコロジカル・ランドスケープでは自然環境と景観の価値を高めながら土地利用計画を行う、石川海岸では養浜を主体とした保全施設整備、牡蠣殻の有効利用では緑化性能の付加、自然環境の改変の代償としてのビオトープ、自然の営力を活かした川づくりというように自然再生、自然景観、都市景観とインフラ整備が一体となった取り組みとなっています。日本社会の発展と自然の保護・保存が同時進行しています。

最後に、今回の交流の広場では都市景観の一環から“進化するデザインマンホールと周辺環境”と題してマンホール女子ならぬマンホール土木女史(ドボジョ)がマンホールの歴史から地域に密着したデザイン、キャラクターの図柄等を解説しています。その中で日産スタジアムの周辺には球団のマスコット、マリノス君の蓋が50枚以上敷設されているが、その中で1枚だけがウインクしていると紹介されているのに興味が湧き、たまには少し遠出でもしてみるかと先週ウインクしている蓋を捜しに行きました。事前にも何も調べて行かなかったため大変苦労しましたが、何とか見つけることが出来ました。見つけた時には何となくの安堵感となかなか良いアイデアだなと思ったことを覚えています。疲れしました。

多岐にわたる業種の方々にお忙しい中ご執筆頂き誠にありがとうございました。誌面をお借りして御礼申し上げます。(小倉・中村)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

見波 潔	村本建設(株)
------	---------

編集委員

山口 武志	国土交通省
山口 康広	農林水産省
浅野 仁之	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
加藤 誠	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
三輪 敏明	(株)大林組
久保 隆道	(株)中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
中村 優一	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
鈴木 貴博	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
中川 明	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
安藤 正紀	(株)加藤製作所
森田 育男	古河ロックドリル(株)
山下純一郎	(株)前田製作所
太田 正志	施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

4月号「コンクリート工、コンクリート構造、コンクリート工事」予告

・コンクリート工の生産性向上について ・コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル
 ・コンクリートのこわばりを低減する混和剤「チキソリデュース」を開発 ・集合住宅に超高強度コンクリート ・周辺環境に配慮した現場添加型高流動化コンクリートの実用化 ・山岳トンネル現場における覆工用高流動コンクリートの適用 ・脱塩工法ならびに再アルカリ化工法の新しい施工方法の開発 ・場所打ちコンクリート工事の新しい管理手法の提言 ・ダム用コンクリート締固め判定システムの開発 ・PCaPC 梁+S 梁ハイブリッド架構の設計・施工 ・Trunch-head を用いたプレキャスト PC 版継手の開発 ・近赤外線を利用したインフラ構造物の非破壊塩害調査システム ・光ファイバセンサを用いたコンクリート中における鉄筋の腐食膨張モニタリング ・下水管路内表面の水分分析に着目したコンクリートの劣化調査 ・コンクリートのひび割れ点検支援システムを開発・試験公開

【年間購読ご希望の方】

①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をもちきり記入のうえ FAX にて協会本部へお申込み下さい。

…官公庁/会社名、所属部課名、担当者氏名、住所、TEL および FAX

年間購読料 (12 冊) 9,252 円 (税・送料込)

建設機械施工

第70巻第3号(2018年3月号)(通巻817号)

Vol.70 No.3 March 2018

2018(平成30)年3月20日印刷

2018(平成30)年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 田崎 忠行

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への
 広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中